人と自然と文化が躍動する環境創造都市　HOKUTO GIKAI DAYORI

北杜 議会だより

2021 Vol.67

東京2020オリンピック聖火リレー
2021年6月26日 北杜市

6月定例会

議案と審議② 委員会レポート④
市長の所信表明⑤ 会派代表・一般質問⑥
声のひろば⑰ 北杜市ウォッチング⑱

山梨県北杜市議会
●発行日:令和3年8月1日

支出金を充当
生活支援を拡充へ―

第2回定例会は、6月8日から24日までの17日間の会期で開催し、市長提出の条例4件、補正予算3件をはじめ報告、承認、同意など計19件を審議し、原案のとおり可決、承認、同意されました。

また、選挙2件を当選、請願2件を不採択としました。

一般会計補正予算（第1号～3号） 2億2,859万円減額

予算総額は280億7,305万円に

一般会計 補正予算（第1号）

歳入（おもな財源） （単位：万円）

国庫支出金	2,601

歳出（おもな使いみち） （単位：万円）

・子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 2,601

低所得の子育て世帯に対し、児童1人当たり一律5万円を支給。

一般会計 補正予算（第2号）

歳入（おもな財源） （単位：万円）

国庫支出金	3,757	繰入金	△1億9,447	諸収入	△1億9,000

歳出（おもな使いみち） （単位：万円）

・子ども医療費助成事業等の対象年齢拡大 1,025

子ども医療費無料化の対象年齢ならびに、ひとり親医療費助成事業および、重度心身障害児・者医療費助成事業における入院時食事療養費無料化の対象年齢を18歳まで引き上げる。

・事業者支援、誘客推進及びキャッシュレス促進事業 1億9,954

市内対象店舗でのキャッシュレス決済利用者に対し、最大30%分のポイントを還元。

・修学旅行円滑実施事業費補助金 700

3密回避などの感染症対策等に伴うバス借上料の補助。

一般会計 補正予算（第3号）

歳入（おもな財源） （単位：万円）

国庫支出金	1,862

歳出（おもな使いみち） （単位：万円）

・新型コロナウイルスワクチン接種推進事業 1,532

ワクチン接種体制を構築するため、接種協力医療機関に対し、協力金の支払いを行う。

※全員賛成で可決

※金額は万円未満を四捨五入しています。

○=賛成　×=反対

賛否のあった議案 案　件	髙見澤伸光	奥水崇	中山喜夫	小林勉	神田正人	大芝正和	秋山真一	進藤正文	清水敏行	井出一司	志村清	齊藤功文	福井俊克	原堅志	清水進	野中真理子	保坂多枝子	内田俊彦	秋山俊和	結果
18歳・22歳北杜市民名簿を防衛省に提供しないでください 請願書	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	不採択
「高齢者の医療費負担を増やさないで」という願いを国政に届けてほしい請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	不採択

コロナ対策に国県一感染症対策と

条例

▼市税条例の一部改正
▼手数料条例の一部改正
▼塩川病院介護老人保健施設条例の一部改正
▼子ども医療費助成金の支給対象者の拡大に伴う関係条例の整備に関する条例
※全員賛成で可決

報告

▼一般会計継続費繰越計算書
▼一般会計繰越明許費繰越計算書
▼一般会計事故繰越し繰越計算書
▼病院事業特別会計予算繰越計算書
▼水道事業会計予算繰越計算書
▼専決処分（損害賠償の額の決定）

承認

▼市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告及び承認
▼一般会計補正予算（第1号）の専決処分の報告及び承認
※全員賛成で承認

同意

▼松尾山恩賜県有財産保護財産区管理会委員
▼大泉恩賜県有財産保護財産区管理会委員
▼大日向山外十三字恩賜林保護財産区管理会委員
▼内山の内十二山恩賜県有財産保護財産区管理会委員
▼篠原山恩賜県有財産保護財産区管理会委員
※全員賛成で同意

選挙

▼大内窪外壱字恩賜県有財産保護組合議会議員
▼下来澤恩賜県有財産保護組合議会議員

請願

■18歳・22歳北杜市民名簿を防衛省に提供しないでください 請願書

●請願者　星（ほし）亜季菜（あきな）
　太田（おおた）義徳（よしのり）

●紹介議員　志村　清

【趣旨】市が本人に断りなく自衛隊へ18歳、22歳の名簿を提出することを中止するよう求める。

反対討論　井出一司

名簿提出は、法令などを精査し、特に問題ない。自衛隊は、国の防衛や人命救助など、国民の幸せにも貢献している。

キャッシュレス決済でポイント還元

賛成討論　清水　進

自衛隊は名簿をもとに若者に入隊の勧誘をしている。若者を戦場に送らないことは、請願者の誓いで自治体の大切な任務。

反対討論　髙見澤伸光

自衛隊の役割を知ってもらい、地域や国民を守るために職務に当たっている自衛隊員の気持ちを重んじるべき。

賛成討論　志村　清

名簿提出は義務ではなく、首長の判断。個人情報を知らせてほしくないという市民の思いをくみ取っていただきたい。

※賛成6、反対13で不採択

■「高齢者の医療費負担を増やさないで」という願いを国政に届けてほしい請願

●請願者
・福冨（ふくとみ）みずほ（きよさと診療所長）
・五味（ごみ）光明（みつあき）
・川上（かわかみ）彰（あきら）（小淵沢年金者組合）
・白井（しらい）章太（しょうた）（武川診療所長）
・川手（かわて）めぐみ（あすなろ武川薬局長）

●紹介議員　清水　進

【趣旨】コロナ禍で市民生活が苦しさを増すとき、高齢者の医療費負担が増加しないよう、意見書の提出を求める。

反対討論　進藤正文

ケガや病気の医療費負担は高齢者ばかりではない。すべての世代の方々が安心できる社会保障制度の構築が重要。

賛成討論　志村　清

窓口負担2倍化によるお金の心配から受診を控え、その結果病気が悪化する。それは国全体の医療費が増大し悪循環となる。

反対討論　清水敏行

現役世代の負担抑制効果が弱いのであれば、併せて別に財源を求めるべき。両方への配慮ある施策が求められる。

賛成討論　清水　進

2割化導入は医療費抑制のためには命、健康に影響してもやむを得ないとの考えに等しい。医療のあり方に禍根を残す。

反対討論　内田俊彦

持続可能な社会・医療制度を今後、確立していかなければならない。この状況下においては、やむをえない判断。

※賛成2、反対17で不採択

委員会レポート

おもな質疑・討論の内容は次のとおり

総務 常任委員会

付託された事件2件と、請願1件を審査した。

■市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告及び承認

問 個人市民税関係について、扶養親族申告書等の電子提出において、一定の条件を満たせば税務署長の承認を廃止とあるが一定の条件とは。

答 一定の条件は、申告書の事項を適正に受け、個人が特定でき、画面表示や出力など必要な措置をしており、国税の申告などに使用するe-taxが使える環境であること。

※全員賛成で承認

■市税条例の一部改正

問 個人市民税均等割の非課税範囲は、金額が変わるわけではなく扶養控除の対象を追加するということか。

答 非課税範囲における扶養親族の定義を国外に居住する親族の扶養控除と同様に、原則30歳以上70歳未満の者を除く取扱いとする。

※全員賛成で可決

■18歳・22歳北杜市民名簿を防衛省に提供しないでください 請願書

問 担当者会議において県では、名簿の提出は義務ではないと説明したとのことだがそれについての見解は。

答 名簿の提出については、義務ではないと国会において防衛大臣が答弁している。

反対討論 井出一司

自衛官募集事務は法定受託事務。法令および条例に則って行う名簿の提出は適正。入隊は強制ではなく本人が決めること。

賛成討論 清水 進

自衛隊は安保法成立以降、海外での戦闘行為にも参加するものに変質。県内でも名簿を提出していない自治体がある。

※賛成3、反対3で委員長裁決により不採択

文教厚生 常任委員会

付託された事件3件と、請願1件を審査した。

■手数料条例の一部改正

■塩川病院介護老人保健施設条例の一部改正

問 対象者は所得が高い人で低所得者に影響はないのか。

答 新たに段階が加わり、前年の年金収入等が120万円以上、資産が単身で500万円以下、夫婦で1、500万円以下の方が対象。従来の第1段階から第3段階の方は変わらないが、短期入所の方の負担は若干増える。

■子ども医療費助成金の支給対象者の拡大に伴う関係条例の整備に関する条例

問 対象者はどのように算定したか。また、入院時の食事療養費は窓口無料化となるのか。

答 実績がまだないため、全国的な状況を踏まえ、中学生の7割と推計。食事療養費は償還払い。

※全員賛成で可決

しおかわ福寿の里での様子

■「高齢者の医療費負担を増やさないで」という願いを国政に届けてほしい請願

問 3月定例会において不採択となった請願第2号との違いは。

答 幅広く高齢者の医療費負担を増やしてほしくないということが趣旨であるが、基本的な部分は一致している。

反対討論 進藤正文

負担能力がある方に可能な範囲で負担してもらい、若い世代の保険料の上昇を減らしていくことが、今、最も重要な課題。

賛成討論 志村 清

後期高齢者は一人当たり医療費が高い。医療費負担をこれ以上増やさないでほしいという願いを議会として採択すべき。

反対討論 清水敏行

若者世代、現役世代の保険料上昇を抑えることも重要な視点。高齢者、現役世代両方への配慮ある施策が求められる。

※賛成1、反対5で不採択

山梨西部広域環境組合議会

3月30日に第1回定例会が開催され、議長選挙および承認等4件について審議し、原案のとおり当選、承認、可決、同意されました。

●おもな議案

選挙

▼議長
小池 章治（中央市）

承認

▼職員給与条例中改正

令和2年度補正予算

▼一般会計（第1号）

令和3年度当初予算

▼一般会計

同意

▼監査委員
飯野 久（南アルプス市）

上村市長の所信表明

コロナ禍による社会経済の閉塞感を打破するためワクチンの早期接種完了を目指します

市民の皆さまへの迅速な接種を加速させ、新型コロナウイルス感染症の収束後には、市民の皆さまが幸せを実感でき、つながりや生きがいを持ちながら、生涯健康で暮らせるよう、全力で取り組んでいきます。

市政の状況

① 東京2020オリンピック・パラリンピック

聖火リレーが、高根町五町田の交差点から、高根町総合支所までの区間で行われ、また、BMXのフランスチームの大会出場が確定し、選手が事前合宿に本市へ来られることが決定しました。

事前合宿の受け入れでは、感染症対策にも取り組みながらお迎えするとともに、オリンピックでの活躍を応援していきます。

市公式Twitterで市の魅力を発信中

② テレビアニメ「スーパーカブ」

本市を舞台にしたテレビアニメ「スーパーカブ」の放送に合わせ、ツイッターでロケ地の場所や観光地の紹介を写真や歴史、地域の情報も加え行ってきました。認知度向上にも効果があり、市の魅力が伝わるよう取り組んでいきます。

③ 市内企業の活躍

市長就任以来、多くの市内企業を訪問し、経営の状況や今後の事業展開などを伺っています。各企業がそれぞれ創意工夫を凝らし、日本にとどまらず、世界でも通用するような事業に取り組んでおられ、大変、頼もしく感じています。

④ 企業版ふるさと納税

税額控除割合の引上げや適用期限の延長、認定要件の簡素化に伴い、本市も企業版ふるさと納税の「地域再生計画」を作成し、国に認定されました。今後、一層の協力が得られるよう、トップセールスにも努めます。

⑤ 世界に誇る食のバレーに向けた取り組み

豊かな自然環境を生かし、世界に誇れるワインの産地として、将来、大きく成長するために、醸造用ブドウ生産者、ワイン事業者、行政など関係者が一丸となって取り組みを展開することで、一層のブランド化を加速させていきます。

世界に誇れるワインづくりを目指した意見交換会

⑥ プレミアム付商品券

新型コロナウイルスの影響を受けた、地域経済の活性化や、事業者支援を目的としたプレミアム付商品券「ほくとトクトク商品券」を販売します。有効に利用いただき、市が一丸となりこの難局を乗り越えていきましょう。

⑦ 高校生への企業説明会

市内企業等の人材確保支援のため、高校生を対象に企業説明会を開催し、地域の企業を知っていただくとともに、ふるさと北杜の担い手となっていただけるよう、今後も積極的に支援していきます。

高校生が地域の企業を知る機会の場づくり

⑧ 国際交流、多文化共生社会への取り組み

国では、外国人の在留資格を拡充させ、安心して働き、暮らせる社会の構築を加速する取り組みを始めています。市では新たに日本語教室を開催し、生活に必要な日本語習得を支援し、安心して働き、住み良い環境を整えていきます。

公明党

代表質問

Question
ワクチン接種率の向上は

Answer
産官学と連携

公明党
内田（うちだ）　俊彦（としひこ）

問 **奨学金肩代わり支援制度は**

①制度導入の考えは。
②企業が希望する、専門学校生の支援策は。

答 **研究する**

産業観光部長　①②制度内容や効果、企業支援について研究する。

問 **コロナ禍における孤立防止は**

①孤立の現状と防止の取り組みは。
②国・県からの支援策は。

答 **関係機関が継続的に支援**

福祉部長　①福祉相談件数は、令和元年度の117件から、令和2年度は347件と大幅に増加。当事者やその家族に寄り添った支援を行っている。
②NPOなどが柔軟に活用できる助成金の創出を要望していく。

問 **八ケ岳スケートセンターは**

①協定に基づく県との遵守事項は。
②地域活性化協議会の設置は。
③管理運営委員会の設置は。
④山梨県との協議の状況は。
⑤存続に向けた市としての見解は。

答 **施設譲渡は来年4月1日**

市長　④知事が補正予算に大規模修繕費1億4千万円計上を表明。⑤譲渡準備にしっかり取り組む。

教育長　③7月中の設置を目指す。

政策秘書部長　①安全性・利便性確保を実施した上での無償譲渡。②7月中の設置を目指す。

未来へつなぐ

問 **公共施設の指定管理者は**

①法令、協定、仕様書などを遵守していないケースと市の対応は。
②住民・利用者からの改善要望は。
③行政官庁から善処を求められた施設は。市の対応は。

答 **市の評価要領に基づき対応**

企画部長　①平成19年度以降、延べ164件の業務改善指示を実施。
②速やかに指導し、改善を図る。
③本年2月、総務省から「道の駅はくしゅう」の販売手数料と営業時間に関する市の指導について照会があった。「最終判断は指定管理者に委ねる」と回答。

一般質問

問 **減災力の強いまちづくりは**

地球温暖化により災害は頻発化・激甚化するが、自然災害に備えるため、専門的知識を持つ人材の育成や活用が求められる。
①防災対応力を支援する「気象防災アドバイザー」の取り組みは。
②線状降水帯情報の周知と活用は。
③ペット同行避難受け入れ体制は。
④避難所のLGBTの配慮は。

進藤（しんどう）　正文（まさふみ）

答 **甲府地方気象台と連携**

市長　②災害発生の危険性が高まった場合、「顕著な大雨に関する気象情報」を発表し対応する。

総務部長　①導入検討していないが、甲府地方気象台と連携し対応。
③一部避難所のペット同伴は可能、飼い主間での協議と検討も必要。
④避難所運営を研究し、運営マニュアルの改訂を検討する。

日本共産党

代表質問

Question
市長の政治姿勢は

Answer
平和が施策の基本

日本共産党
志村（しむら）　清（きよし）

①「憲法9条に自衛隊を明記、緊急事態条項の創設」などの自民党改憲案に対する市長の見解は。
②核兵器禁止条約への評価は。
③18歳・22歳の青年名簿、個人情報の自衛隊への提出問題は。

市長　①国会において慎重に審議されるものと考えている。
②「非核三原則」を堅持し、核兵器の根絶を願い、平和を施策の基本として市政に取り組む。

総務部長　③名簿提出は義務ではないが、法令・制度に則り提出が適当と判断。自衛官募集のみに使用され、個人情報は守られている。

問 新型コロナ対策の強化は

①ワクチン接種率向上の方策は。
②抗原検査の活用状況は。
③市の「持続化応援金」の現状は。

答 「持続化応援金」事業を実施

健幸市民部長　①年代別の予約とし、若い世代対応でWEB予約の枠を広げる。土日を基本に、木曜日午後にも集団接種を実施する。
②抗原検査は、施設などで感染拡大の恐れがある場合、「スクリーニング」として活用している。

産業観光部長　③6月15日現在、申請は76件、交付済額660万円。社団などは3件、150万円。交通業者は11件、371万円。期間の延長は、感染状況を踏まえ検討する。

該当するか問い合わせを

問 給食費無償化、給食の食物アレルギー対策は

①3月で終わった給食費無償化の復活は。通年での無償化は。
②当事者を集めた相談会の開催は。

答 個別面談で対応

教育長　①通年の無償化は考えていないが、コロナ支援策としては検討課題と考えている。
②個別面談できめ細やかに対応している。相談会は考えていない。

問 土砂大量搬入業者への指導は

①(1)事前協議書や届け出の提出は。県に対し指導の要請は。
(2)埋め立て物の調査は。
②須玉町の「硫化水素発生を封じた県代執行工事」後の検査結果は。

答 県と合同で実施

建設部長　①(1)市の要綱、県の条例に基づく手続きが未了のため、6月8日に県と合同で指導した。対応しない場合、中止を勧告する。
(2)通報や監視パトロール、立ち入り目視を行っている。
②県が8月までに水質調査を実施。

一般質問

清水（しみず）　進（すすむ）

問 白州町の太陽光発電は

担当者の現地視察を行ったか、地区合計の発電量、売買合意のない工事申請、土砂災害警戒区域の周知など、市の見解を伺う。

答 地域住民の意思疎通が重要

建設部長　現地調査を行い、許可基準に適合と判断。工事申請は売買の合意を確認し許可。生活環境との調和を図るため条例を制定。

問 中学校統合、小規模校存続は

①統合して適正規模に、は地域の疲弊化を招く。市の見解は。
②子どもを増やす市の重点対策は。

答 持続可能な北杜市目指す

市長　②ほくと子ども育成戦略会議を立ち上げ、施策を検討する。

教育長　①より良い教育環境確保のため審議している。

Question

LGBT施策とパートナーシップ制度は

Answer

認識を深め、啓発に努める

みらい創生
保坂多枝子（ほさかたえこ）

問 ①LGBTについての現状認識は。
②本市の取り組みは。
③教職員などへの研修の必要性は。
④パートナーシップ制度導入は。
⑤多目的トイレの設置や制服の選択制は。

教育長　③研修会への参加を促す。

企画部長　①偏見、差別、いじめなど人権問題もあり全国的な課題。
②「多様な生き方について考えるワールドカフェ」開催など、啓発に努めている。

健幸市民部長　④動向を注視検討。

教育部長　⑤課題として検討する。

問 テレワークの推進は

①「旧道の駅こぶちさわ」に整備するサテライトオフィスは。
②公共施設の活用や民間事業者への支援は。
③制度支援だけでなく市単独の補助金制度は。

答 積極的に取り組む

市長　①二拠点居住の促進や、移住・定住人口の増加、周辺地域の活性化を目的に、企業に私が出向いて、誘致を進めたい。
②民間施設の空きスペースを活用し、国や県の助成が受けられるよう支援。公共施設では、長坂駅前などを検討している。

企画部長　③ニーズに応じ検討。

テレワークの拠点として

問 上下水道事業の現状と課題は

①市民への現状周知は。
②施設の更新費用と予算の目途は。
③施設整備の方針と財源確保は。

答 料金改定が必要

市長　③上水道は、老朽化した管路の更新が中心。耐用年数の1・5倍まで延伸し、漏水多発管路を優先的に更新。重点化を図り、有収率改善や水道事故防止による経費、事務量の削減などで、経営を安定化。下水道は、処理場を統廃合して更新需要を抑制し機械装置を更新。「北杜市上下水道事業審議会」で議論し、料金改定の検討が必要。

上下水道局長　①施設の老朽化、更新財源の確保など、厳しい経営状況をHPや広報誌、市民への説明会等で伝えたい。
②今後50年間の更新試算では上水道は年間約10億円が必要。現収入では年平均約2億6千万円に抑制する必要がある。公共下水道は約13億円、農業集落排水は約5億円が必要。現収入では合算で年平均約6億1千万円に抑制が必要。

問 要支援者への移送サービスは

①実態の把握は。
②現状を踏まえた支援策は。
③甲陽病院のバスの増便は。

答 移動支援事業を実施

福祉部長　①市内の9事業者は、車両や職員が不足。需要に対応できていない。
②「重度身障者等タクシー利用料金助成事業」を実施している。人工透析患者を対象に加えるよう県に要望。

健幸市民部長　③現状対応難しい。

問 天然記念物の指定と管理は

①市内の天然記念物の現状は。
②管理責任と方法は。
③今後の指定と管理は。
④高齢化や過疎化で管理が難しくなっているが。

答 補助金などで保存管理を支援

教育長　①国指定3件、県指定21件、市指定37件。
②管理は所有者の責任で行う。職員の巡回や補助金交付で保存管理を支援。
③指定は「北杜市文化財保護審議会」で検討。特別な管理は、指導、助言や補助金を交付。

教育部長　④「文化財保存活用地域計画」で審議検討。

一般質問

大芝　正和（おおしば　まさかず）

問 感染症に強い北杜市は

市内全域に、やまなしグリーン・ゾーン認証施設があることで、市民や観光客が安心して訪れることができる。しかし、認証済のステッカーが小さく分かりにくい。

①認証取得施設が一目で分かるスタンドやのぼり旗などの配布は。

②事業者支援・誘客推進・キャッシュレス促進事業の内容と期待される効果と事業者に対する支援は。

答 ウィズコロナ時代の誘客施策

市長　②市内の宿泊業・小売業・飲食業を含む中小事業者支援が必要。キャッシュレス決済は利便性が向上し、消費喚起と市外からの収入獲得が期待できる。

産業観光部長　①認証された施設のPRは必要。県と協議し事業者の意見も聞き、効果的PR方法を検討する。

②キャッシュレス導入を検討する事業者には、市役所内にブースを設置し相談に応じる。

問 JA小泉支所前交差点改良は

JA梨北小泉支所前交差点は、市道がT字路で複雑に交差する変則5差路。地域住民が交差点改良要望を県に提出しており、早期実現を望む事業である。

①県の具体的な年次計画は。

②道路改良における課題は何か。

③積極的な県への働きかけは。

答 県と調整し事業推進を図る

建設部長　①地域の重要な生活道路。第二次緊急輸送道路として、社会的受益が大きく、極めて公共性が高いと評価され、令和2年度から令和7年度までの計画で事業化された。令和7年度の事業完了を見込んでいる。

②傾斜地に位置し、既設道路の交差線形も変則。用地取得のほかに住居補償物件もあり、地権者や地元関係者の理解と協力が必要。

③県と連携を密にして事業推進に努める。地元の検討委員会などの要望にはできる限り対応する。

JA梨北小泉支所前交差点

一般質問

神田　正人（かんだ　まさひと）

問 デジタルサービスの状況は

①市のデジタル化の現状は。

②デジタル化にどう取り組むのか。

③窓口受付対応の具体策は。

答 窓口業務の導入を検討

市長　①国の「自治体DXデジタル・トランスフォーメーション推進計画」で、地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続きとして、58の手続きを指定。子育てや介護関係、被災者支援関係などに関する31の手続きが、特に重点的に取り組むべき手続きとして位置付けられている。現在、市町村が行うべき27の手続き中、「やまなしくらしねっと」利用の電子申請が可能となっている。

②自治体の行政手続きのオンライン化や、人工知能を利用した定型的な事務作業をソフトウェア型のロボットが代行、自動化し業務の効率化を図る「AI・RPA」の利用促進が挙げられる。窓口業務の導入が可能か検討する。

企画部長　③一般的・定型的なものは、「回答をデータベース化し、AIに自動返答させる」いわゆる「チャット・ボット」の導入などを今後検討していく。

問 教員の働き方改革は

教員の多忙化、長時間労働が問題となっている。

①学校職員の労働時間の状況は。

②中学部活動の状況、導入された部活動指導員の課題は。

③コミュニティースクール現状は。

答 教職員健康サポートに努める

教育長　①教職員の労働時間などは、県の統合型校務支援システムにより把握。超過勤務が続く教職員は、産業医の面談を実施、心身の健康サポートに努めている。

②部活動は運動部36、文化部13で、顧問と部活動指導員の指導で活動している。部活動指導員は本年度11名を任用。

③泉小学校、長坂小学校、明野小中学校には合同で協議会が設置されており、保護者や地域と連携している。

中学校の部活動風景

一般質問

福井（ふくい）　俊克（としかつ）

問 中学校適正配置計画は

①審議の状況と答申の時期は。
②適正化配置実施計画の予定は。
③ワークショップの意見、対応は。
④適正規模設定の推移、総合計画との連携は図られるのか。
⑤中学校統廃合の規模・内容は。

答 規模は審議会の答申で検討

教育長　①教育水準の維持向上と、持続可能な学校運営を目的に、各地区で「北杜市立小中学校適正規模等検討市民ワークショップ」を開催、関係者からの意見と方向性を検討し、本年度末までには答申いただけると考えている。
②審議会の答申を踏まえ、来年度中に策定する。
③ワークショップの意見は、今後の審議会の検討に反映させる。
④昨年の生徒数は1、003人、令和14年時点推計は665人。総合計画とも連携をしっかり図る。
⑤一定の規模は必要と考えるが、具体的な規模は審議会の答申を踏まえ検討していきたい。

問 ウイルスワクチンの接種は

①市の65歳未満の接種計画は。
②小・中・高の教職員、保育園などの職員接種を優先すべきでは。
③施設従事者、消防職員の接種は。

答 WEB予約も拡充する

市長　①接種券は6月中に届く。電話オペレーターの増員やWEB予約を拡充する。
②6月に教職員404人、保育士196人にワクチン接種が完了。
③施設従事者は優先して実施し、消防職員は概ね接種が完了している。

問 ICT教育は

①一人一台端末、現状と課題は。
②GIGAスクールサポーター、ICT支援員の配置状況は。

答 活用と実践を推進

教育長　①教職員のICTを活用した指導力の向上などが課題。
②支援員は3名を配置、18校で支援。学びの環境充実に取り組む。

ICT教育の様子

議会運営委員会行政視察研修　4月22日 富士川町

〈研修テーマ〉

タブレット端末を使用した議会運営について

〈研修概要〉

タブレットによる議会運営を進めるにあたり、タブレット端末導入の経過、効果などについて学び、富士川町議員によるマンツーマンの指導でタブレット端末を実際に操作し、機能、使用方法等を体験した。

〈考　　察〉

◆事前に送られる議案や過去の議案また関係資料などが、容易に検索でき、事業内容の理解も容易となり、審査・審議がスピーディーになる。

◆議員の政策提言力向上・チェック機能の充実および市民への情報提供の向上については、導入してみなければわからない面があるが、政策提言力、情報提供の向上は議員個々の問題であるのでタブレット端末を導入し、慣れて、利用を拡大し、議員活動を充実していくことは容易に可能である。

◆課題として、情報の提供をどこまでするのか、使用に当たり、条例や要綱、規則の整備が必要となる。

Question
太陽光発電条例改正は

Answer
県太陽光条例との整合を図る

ともにあゆむ会
齊藤（さいとう）　功文（こうぶん）

①市太陽光条例と、6月定例県議会に提案された県条例との関連は。
②市条例の改正の手続きは。
③住民説明会など実施中の対応は。
④「リスク・コミュニケーション」関係の規定を条文へ導入は。

市長　①県条例は県下全域に制限が及ぶ。整合性を図る必要がある。
②法令などとの整合性を図り、市民などからのご意見を伺う中で改正手続きを進める必要がある。
③現在計画されている案件は、現行条例の規定に沿って対応する。
④現時点では考えていない。

問 防災対策は

①「土砂災害警戒区域」などの宅地の固定資産税課税状況は。
②地域減災リーダー研修会実施は。
③コロナ禍での避難所対応マニュアル作成は。
④防災無線整備で、住民要望の多い個別受信機方式への切り替えは。

答 万全を期す

総務部長　①本年度、「警戒区域」の納税義務者3、896人、約249㌶、税相当額7、919万円。「特別警戒区域」の納税義務者823人、約101㌶、税相当額3、426万円。
②本年度、一般向け3回、職員向け2回を行う予定で、6月6日に第6期を開催した。

忘るな、北杜の災害記憶

③昨年6月、避難所運営マニュアル「感染症対策編」を策定し配布した。
④個別受信機に電波が届かない地域があり、アナログからデジタル方式へ移行する際導入は見送った。

問 ふるさと納税の活用施策は

①年度ごとの実績は。
②返礼品の内容と実績は。
③ふるさと納税を活用した施策は。
④地下水資源を護る施策は。
⑤企業版ふるさと納税制度の取り組みは。

答 昨年度の寄付は5億2千万円

市長　⑤「自然環境や森林、水資源を護る取り組み」「八ケ岳スケートセンターの存続に向けた取り組み」「ワーケーション事業の取り組み」など、重点的に取り組む施策も積極的にアプローチしたい。

企画部長　①制度を開始した平成20年度の464万円から、おおむね1、200万円前後で推移し、令和元年度が9、839万円、インターネットサイト運用を本格化した昨年度は、速報値で5億2、352万円の寄付額となっている。
②昨年度は、市の特産品や宿泊施設、観光体験の利用券など、400品目以上を用意した。人気の上位は、宿泊利用券、ミネラルウォーター、日本酒セットの順。
③自然環境の保護、子育て支援、防災事業などに活用している。

建設部長　④白州町では、観測井戸のモニタリングを実施。環境保全基金を活用し、地下水観測第三者評価を行っている。今後、他のエリアでの施策展開を検討したい。

問 公共的団体活動への支援と地域活性化は

①令和2年の行政組織見直しに対する市民、利用者からの意見・要望は。
②地区文化協会への事務的支援は。
③スポーツ・文化活動への支援は。

答 生涯学習社会を目指す

教育長　①「教育センターが実施していた講座がなくなった」「公民館と連携した事業ができないか」、また、施設利用に関することなどの意見が寄せられている。
②公民館には、市職員OBを館長として配置し、組織運営の相談、印刷支援など対応している。
③各種の活動団体や、自主的な学習活動への支援を継続し、生きがいのある生涯学習社会を目指す。

星見里の声

代表質問

Question
「スーパーカブ」の活用は

Answer
ファンの来訪に期待している

星見里の声
中山　喜夫

TVアニメ「スーパーカブ」の聖地として、全国的に北杜市が注目されている。
①好機を逃さず、活性化に取り組むべきだ。市の認識は。
②現在、市が行っているPRは。
③今後のPR戦略は。
④地域連携と支援策は。

産業観光部長　①放送は7月に終了するが、アニメ関係者によれば「ファンの来訪が、おおむね2年から3年は続く」とのこと。引き続きファンがアニメの舞台となった地域などに、足を運んでいただける取り組みを行う必要がある。今月設立された、「北杜アニメツーリズム協議会」と連携し、持続可能なアイデアを探りたい。
②公式ポスターやチラシを掲示・配布し、市の公式ツイッターやホームページで情報発信している。
③登場する建物や場所に案内板を設置し、ファンイベント開催やコラボ商品の開発も考えたい。
④聖地マップの製作、スタンプラリーやツアーなど、地域と連携して取り組みたい。

スーパーカブ聖地巡礼名所「ポケットパーク」と「日野春駅」

問　通信弱者を置き去りにしない社会づくりは

①「北杜市まなびの杜タレントバンク」を活用し、インターネット・SNS・オンラインなどが不得手な高齢者の身近な学習機会の提供を。
②「まなびの杜」事業の周知は。
③通信弱者を置き去りにしない社会の実現に向けた施策は。

答　高齢者向け情報講座を設ける

教育長　①「北杜市まなびの杜タレントバンク」は、日常生活、文化・芸術などのあらゆる分野で、知識、経験、技術を持った方に登録していただき、それを活かしたい人と、学びたい人をつなぎ、学習活動を手助けする制度。現在、51人が登録している。市では、登録者一覧表を社会教育施設等へ設置し、分館活動や、市民グループが自主的に企画されている講座で、登録者の活用を図っていく。
②生涯学習情報誌「まなびの杜」を年2回発行し、市内に全戸配布している。
③情報通信技術の発展や、コロナ禍における生活環境の変化で、これまで以上に、情報通信の果たす役割が重要になっている。高齢者には、情報機器の操作方法が不明な方が少なくない。スマホ教室や、オンラインの操作方法を学ぶ講座を開催したいと考えている。

一般質問

髙見澤伸光

問　免許証返納後の生活に対する市の考えは

①免許証返納時にバス利用券に加えてタクシー利用券の配布を。
②免許証返納後の市民生活の補助、公共交通について市の考えは。

答　利用しやすい市民バスを検討

市長　②市民バス乗り方出前講座を開催し、目的地や時間に対応した、お出かけレシピの作成支援など周知を図っていく。
企画部長　①デマンドバスの利便性向上を目指す。他の自治体でタクシー券を配布しているので、今後また研究していく。

問　鳥獣害被害対策は

市で行っている対策は。

答　被害防止にドローン等検討

森林環境部長　電気柵や資機材購入等を補助、追い払い活動の支援や講習会の実施、大型捕獲檻を各地に設置し広域的に務める。

問 市立2病院の将来は

①市立2病院の適正な病床数は。
②最先端の医療機器導入は。
③常勤医師の拡充は。
④若手医師定着のための改善策は。
⑤各科に最低1名の常勤医師が望ましいのでは。
⑥2次救急患者の受け入れ体制は。

答 整備に努める

市長　①300床規模の病院であれば、十分な医療提供体制が取れるとされている。北杜市の現状は、塩川病院108床、甲陽病院122床、合計230床であり、その維持が課題となっている。一つの病院に集約した300床の確保や、病床数の増加は難しいと認識している。
②医療機器の購入については、補助金や起債などを活用し、新規機材や最新機種への更新を行っている。より精密な医療機器は山梨大学医学部付属病院や、県立中央病院などの検査となる。高額の医療機器については、塩川病院で白州診療所、辺見診療所、武川診療所、ほくと診療所などの患者の受け入れを行っている。甲陽病院では、CTやMRI撮影装置は、白州診療所と共同利用するなど、効率的に活用している。
③あらゆる機会を通じて、山梨大医学部に派遣要請していく。
健幸市民部長　④スキルアップした若い医師が勤務してもらえるような、魅力ある病院運営を検討したい。
⑤山梨大医学部、県医務課、自治医大県人会などの人脈を通じて医師確保に努めている。
⑥峡北地区の休日および平日夜間は、塩川病院、甲陽病院、韮崎市立病院、韮崎相互病院の輪番制で対応している。その他、県内救急病院、長野県の富士見高原病院などに救急搬送している。現在当番医師1名の対応のため、症状によっては、県内の専門医療機関に搬送される。

北杜市立
「塩川病院」
「甲陽病院」

一般質問

奥水 崇（こしみず たかし）

問 情報提供と市のHPについて

情報を届ける環境づくりが大切。
①HPに対する市の考えは。
②HPは最大何階層で構成か。
③窓口細分化と階層の必要性は。
④アプリ導入、利便性の向上は。

答 アプリは一層研究する

政策秘書部長　①スピード感を持ち、見やすいHP作成に努める。
②③5階層構成、アクセスを工夫。
④アプリの利便性高い、研究する。

問 市内不妊治療について

①治療に伴う休暇の取り扱いは。
②人事評価等への影響は。
③こうのとり支援事業の実績は。

答 不妊治療時の評価は対象外

総務部長　①年次有給休暇となる。
②年次有給休暇取得は評価対象外。
福祉部長　③申請件数19件、母子健康手帳交付件数は5件。

一般質問

小林 勉（こばやし つとむ）

問 市内宿泊施設の支援策は

①支援策の内容は。
②実施時期は。

答 切れ目なく支援行う

市長　①商品券事業やキャッシュレス促進事業、大手旅行事業者を利用した誘客推進事業など。
②9月から12月まで切れ目ない実施と支援を行う。

問 自治体DXの取り組みは

①2025年目標の準備状況は。
②マイナンバー、市の取り組みは。
③新部署の創設、人材確保は。

答 推進体制を構築する

総務部長　③新部署創設を予定、人材支援制度や体制を強化。
企画部長　①住民サービス利便性向上とシステムの最適化を踏まえ、推進体制構築し取り組む。
健幸市民部長　②本庁窓口に職員増員、普及促進に努め、出張サービスも実施する。

代表質問

Question
下水道事業は

Answer
使用料改定は喫緊の課題

北杜クラブ
秋山（あきやま）　俊和（としかず）

①処理場、管渠の耐用年数は。
②本年度、事業全体の運営計画は。
③維持管理費の抑制対策は。
④適正な使用料の検証は。

上下水道局長　①建物は8年から50年、構築物は10年から50年、機械・装置は6年から20年と幅がある。
②事業費用予定額は29億6、026万円。建設改良費予定額は1億5、475万円。下水道使用料は農業集落排水との合計で5億8、512万円。他会計補助金は合計で23億8、804万円。
③異常箇所を早期発見し修繕する。
④審議会に諮問する予定。

問 ふるさと納税は

①令和2年度の確定額は。
②令和3年度の状況は。
③増富温泉宿泊を返礼品にできないか。

答 前年度の約5倍に増加

企画部長　①速報値で5億2、352万円、1万6、060件。
②5月末現在、前年同月比約8倍。
③観光施設などもふるさと納税返礼品として提案していきたい。

問 コロナ禍での事業者支援は

①「やまなしグリーン・ゾーン認証」に基づく、「ふるさと北杜」支援事業に申請した事業者数は。
②(1)観光事業者、バス・タクシー事業者支援は。
(2)新規の支援策は。

答 切れ目ない支援を展開

市長　①飲食業166件、宿泊業138件、酒蔵4件。
②(1)来月から「ほくとトクトク商品券」が活用できる。
(2)9月から10月にかけてポイント還元される、キャッシュレス促進事業を実施する。

問 子育て教育支援は

①コロナ禍対策として、学校給食費、保育料・副食費を再び無償化する考えは。
②「ほくと子ども育成戦略会議」の進捗状況は。

答 本年10月から無償化を実施

市長　①再度無償化する方向で、予算措置など調整しながら本年10月から来年3月までを予定していきたい。
②20人以内で委員を公募し、今月中に設置したい。従来の施策や過去の事例にとらわれることなく、幅広い視点からの議論を期待する。

夢がたくさん持てる市に

一般質問

秋山（あきやま）　真一（しんいち）

コロナ禍で厳しい状況の中、要望してきた子ども医療費助成金の対象年齢を、18歳まで拡大する政策を決断された市長に感謝する。

問 オリンピック パラリンピックの対応は

①フランス選手団受け入れは。
②受け入れ中の感染防止対策は。
③公開練習は。

答 選手の練習環境整える

市長　①マニュアル作成し、環境を整え受け入れ準備進める。
②厳しい行動制限や検査を実施。
③実施は困難。映像で伝える。

問 ウィズコロナ対策は

①出勤率を最小限に抑えた検証は。
②職場環境改善は。

答 定期的換気など対策を徹底

総務部長　①検証はしないが、テレワークや距離の確保に取り組む。
②換気など感染予防を徹底。

一般質問

井出（いで）　一司（かずし）

問 ヤングケアラーについて

子どもが家族のケアなどで拘束され、遅刻や欠席するヤングケアラーが課題となっている。
①市の状況と対応は。
②市と学校・地域連携は。
③対応専門員の設置は。
④今後の対応は。

答 関係機関と情報共有し支援

福祉部長　①家庭児童相談室への相談や、関係部署からの報告はなく、いないと考えている。
②地域や教育・福祉・医療など関係機関と情報共有し支援。
③相談員2名、状況みて検討。
④認知度向上が重要。福祉団体などへも周知していく。

問 小規模農業と新規就農は

①新規就農者の支援と小規模農業者支援の現状は。
②新規就農者育成施策は。
③プライベートブランド支援は。

答 サポート体制整える

産業観光部長　①過去5年間で延べ59経営体が新たに認定。定着を図りサポート体制整える。
②経営や就農計画の作成を支援し、新たに農業を営もうとする青年等の確保・育成を図る。
③施設整備や病害虫防除経費に補助金を交付し、育成を支援。

問 長坂駅周辺の活性化は

駅周辺は首都圏とのアクセスも良く、移住定住相談窓口や企業からの相談体制も確立している。
①公共施設活用しリモートワーク、シェアオフィス拠点整備は。
②ワークショップの進捗状況は。

答 拠点整備を進める

市長　①長坂コミュニティ・ステーションをテレワーク施設拠点とし、整備を進める。
②ワクチン接種の動向も見ながら、開催を行う。

長坂コミュニティ・ステーション

議会のうごき

5月	6日	正副議長・正副議会運営委員長会議
	18日	議会運営委員会
	24日	市町村総合事務組合議会臨時会
	25日	全員協議会
6月	1日	議会運営委員会、全員協議会
	8日	定例会本会議（開会）、広報編集委員会、会派代表者会議
	10日	議会運営委員会
	15日	総務常任委員会
	16日	文教厚生常任委員会
	18日	全員協議会、会派代表者会議
	22日	定例会本会議（代表質問）
	23日	定例会本会議（代表質問・一般質問）
	24日	定例会本会議（議案審議、閉会）、全員協議会
7月	6日	経済環境常任委員会所管事務調査
	7・13・16日	広報編集委員会
	26日	峡北広域行政事務組合議会全員協議会・定例会

表彰

第97回全国市議会議長会定期総会において、次のとおり表彰されました。

議員15年以上

野中真理子　議員
保坂多枝子　議員

会派 しんせい

代表質問

Question
公共施設管理・個別計画は

Answer
市民ニーズを把握し計画策定

会派 しんせい
清水（しみず） 敏行（としゆき）

①個別計画策定に当たり、地域説明会、各種団体などの意見聴取は。
②更新試算などコスト情報は適切か。削減目標は。
③本庁舎の方向性は。
④本庁舎・総合支所周辺への居住、集約化の推進は。

市長 ①施設再編などをテーマに、ワークショップを12回開催した。新たに検討委員会を立ち上げ、地域説明会やパブコメなども適宜実施したい。
②「日本建築学会」の考え方や「地域総合整備財団」の試算ソフトに基づき推計しており、適正と考えている。削減目標は、今後、計画の改訂業務の中で検討する。
③本年度は、既存の検討委員会でデータ収集や課題の洗い出しを行う。今後は、より幅広い分野の方で構成する「検討委員会」を設けたいと考えている。
④本市は、商業施設などが分散しており、突出した市街地がない。庁舎の在り方、居住の集約化を総合的に検討する必要がある。

将来の「まちづくり」構想は

問 中学校の適正規模は

①第2次総合計画による影響は。
②熟議のため、「小中学校適正規模審議会」の延長は。
③「公共施設等総合管理計画」は、延べ床面積削減を目標にしている。「小中学校適正規模審議会」との関連は。
④地域説明会開催は。

答 審議会答申は年度内の見込み

教育長 ①第3次総合計画策定においても、目指すべき方向性には、影響や変更はない。
②③コロナ禍で年度末まで審議会の答申がずれ込むが、来年度までの延長はない見込み。審議状況は、「公共施設等総合管理計画」の本年度の見直しに反映される。
④審議会答申を受け策定する「実施計画」の内容を、市民に説明する機会が必要。開催したい。

問 行政区加入の現状は

①最新の加入率は。近年の傾向は。
②市の取り組みは。
③加入を促す冊子作成は。
④行政区加入とまちづくりは。

答 減少傾向にある

総務部長 ①平成31年70・4％、令和2年69・6％、令和3年68・2％と減少傾向にある。
②転入時に、チラシ配布、区長の連絡先の案内など加入促進に取り組んでいる。
③本年度、区長を対象に行政区情報を調査している。参考にして冊子作成に取り組む。
④地域コミュニティの構築が大切。

一般質問

野中真理子（のなかまりこ）

問 保育園関連の子育て支援は

①午睡用ベッド導入の考えは。
②使用済みおむつの処理方法は。
③市立と私立保育園への対応は。

答 保護者に寄り添い支援する

市長 ①保護者の意見や保育現場と協議し、先進事例を研究する。
②保護者の負担軽減とコロナ感染防止の観点から、各保育園で処理できるよう体制を整える。
③地域ごとの特色や独自性を尊重。情報を共有し保育の充実を図る。

問 学校現場の最近の課題は

マスク着用について、体育授業時や保護者からの申し入れへの対応は。

答 健康・安全が第一

教育長 児童生徒の健康や安全が第一。保護者から申入れがあった場合は、保護者や児童生徒本人と相談しながら対応をしている。

子ども医療費の助成が18歳まで拡大されます

声のひろば

包括的な委託契約のもとで

鈴木（すずき）　博之（ひろゆき）

税金を行政に対する委託費として考えた場合、通常の委託契約と異なり、その委託の範囲は包括的であり、明確さに欠けていることになります。

そこで、我々市民はその委託費をどのように使ってくれるのかを、選挙を通じて選択しているのだと思います。地方自治は、二元代表制のもと選ばれた、旗振り役の市長とその市長への提言やチェック機能を果たす市議会議員とで構成されます。

上村市長には強いリーダーシップをもって、時にはその過程を我々市民が共有できるように情報を公開しながら、政（まつりごと）に取り組んでいただきたいです。

一方で、市議会議員の皆さまには我々市民が混乱しないように、建設的なチェック機能を果たしていただきたいです。

一流の田舎町

平田（ひらた）　明彦（あきひこ）

私は北杜市生まれ、北杜市育ちです。

高校を卒業して私は東京に就職し、4年間実家を離れ生活をし、北杜市の実家に戻ってきました。

東京で生活していた時は、自分の生まれ育ってきた北杜市の自然にあまり興味がなかったのですが、改めて北杜市の自然の豊かさに気づきました。私の実家は代々、お米農家で今でもお米を親子で作っています。私はこれからもこの素晴らしい豊かな自然と共に成長していきます。

昨年から猛威を振るっている新型コロナウイルスですが、北杜市は安心・安全でみんなが過ごせるようにワクチンの接種や、さまざまな対策をしてもらいたいです。

一日でも早く、このコロナ禍が終息することを、私は心から願っています。

ワクチン接種

齊木（さいき）　昭人（あきひと）

北杜市でもワクチン接種が始まった。65歳以上が対象になっている。接種予約が思うようにならない話をよく聞いた。接種できない人はどうするのか。山梨県選出の国会議員さんはイベルメクチン使用を考えていた。

令和3年2月17日に田村厚労大臣は「適用外使用では今も使える。医療機関で飲んで自宅待機の使い方もある」と答弁。菅総理は「日本にとって極めて重要な治療薬と思っていますので、最大限努力させていただきます」と答えました。

令和2年4月に保険支払い機関に通知があり、保険が使えるようになっていました。ワクチン接種できない人にとっては希望が見えたようです。今後、北杜市も希望が持てる市になるよう期待しています。

人を育てる環境づくりに

清水（しみず）　悦子（えつこ）

少子高齢化と言われて久しい。高齢者に対しては医療介護などを含め支援がされてきている。高齢者の仲間入りをして改めてみると、元気で活躍する高齢者のなんと多いことか。支援を待つのではなく、誰もが生き甲斐を持って生活をされている。これを進めていくような環境づくりをしてほしいと思う。

一方、少子化問題である。子どもは未来の宝。子育てしやすい環境作りが望まれる。うちにもかわいい孫がいる。子どもたちには地域の方に守られ、健やかにのびのびと育ってほしい。もてる力を見つけて伸ばすような子育てと教育を期待したい。問題への対策として。

市には、短期的・長期的な視点に立って、人を育てる環境づくりに力を入れてほしいと思う。

北杜市ウォッチング HOKUTOSHI WATCHING

高校生も活躍 ～全国の舞台へ～

北杜市立甲陵高校 フェンシング部

令和3年度全国高等学校総合体育大会に出場

山梨県立北杜高校 馬術部

第55回全日本高等学校馬術競技大会に出場

会議録検索システム・議会中継録画配信をご活用ください。 北杜市議会 検索

※6月定例会の会議録掲載は9月上旬を予定しています。

次回の定例会は9月に開催する予定です。

編集後記

議会だより67号の編集作業のまっただ中です。新型コロナ感染症の終息の見えない中、東京五輪・パラリンピック開催の準備が各地ですすめられています。

山梨県内でも聖火リレーが6月26日、27日の2日間にわたり、172人のランナーが、23市町村の32・17キロで聖火をつなぎました。聖火リレーに参加した人々はどのような思いで走ったのでしょうか。

議会閉会直後、フランスの男女のビーチバレーチームがオリンピック出場権を獲得できず、本市において事前合宿を行わない情報が知らされました。突然のことでびっくりしているところです。

オリンピックが無事終えることを祈るのみです。

議会広報編集委員会

委員長 秋山 俊和
副委員長 髙見澤伸光 志村 清
委員 輿水 崇 小林 勉
秋山 真一 進藤 正文
齊藤 功文 福井 俊克

●発行:山梨県北杜市議会 ●発行人:議長 加藤紀雄 ●編集:議会広報編集委員会

〒408-0188 山梨県北杜市須玉町大豆生田961-1
TEL.0551-42-1303 FAX.0551-42-1128
URL:http://www.city.hokuto.yamanashi.jp/
E-mail:info@city.hokuto.yamanashi.jp

印刷:(株)東洋インターフェイス